

# 坂東太郎

2017年9月 NO. 1

第23回労働大学まなぶ友の会  
全国交流集会現地実行委員会

発行責任者：三宅敏之 編集者：小田切博

「坂東太郎」とは、利根川の異名で、「坂東（関東地方の古名）にある日本で一番大きな川」という意味です。その源流はというと、群馬県利根郡みなかみ町にある三国山脈です。

私たち現地実行委員会は「坂東太郎」の名に恥じないよう取り組み、全国交流集会の成功を勝ち取る決意です。



## 第23回全国交流集会の成功に向けて！

第23回全国交流集会 現地実行委員会 委員長 三宅敏之

関東ブロックは、8月5日の幹事会で第23回全国交流集会の成功に向け実行委員会体制を立ち上げ、実行委員会として二つの目標を立て取り組むこととしました。

その一つは「現地実行委員会の顔が見えなかった」という前回の総括を踏まえ「編集」「合唱・演劇」「機動・設営」の専門部を設置し、それぞれの部が県協連全国運営員会とともに主体的に運動を担っていくこと。そのために11月3日～4日に、開催地の水上で各県の四役・運営委員を中心に実行委員会を開催し任務について意思統一をしていくこと。

二つ目は、この取り組みを通して関東ブロックの団結強化と各県協の運動を強化していくことです。開催地の群馬県協は、今年5月の全国交流集會を前にして会長の斎藤さんが逝去され大変な状況でしたが、その悲しみを乗り越え事務局長の清水さんが会長に、近藤さんを事務局長に新体制を確立しました。関東ブロックは群馬県協の仲間とともに斎藤さんが赤城の地に定着させた友の会運動の灯を消さないために一緒に関わっていくことを確認してきま

した。さらに各県の友の会運動の課題も明らかにしなければなりません。

当面は、11月の第22回全国県協連総会に各県の総括が出し合えるよう幹事会と現地実行委員会を並行させながら取り組んでいきたいと思ひます。

全国の仲間「参加してよかった、元気が出た」と総括しあえるよう来年5月の開催に向け取り組みを積み上げていきます。

現地実行委員会体制		
実行委員長	三宅 敏之（関東幹事会代表）	
副実行委員長	清水 保美（群馬県協会長）	
	丸山 和彦（山梨県協会長）	
	小泉 俊士（神奈川県協会長）	
	高田 信雄（埼玉県協会長）	
	海野 貢（茨城県協会長）	
	林 成行（千葉県協会長）	
事務局長	文化	近藤 泰夫（群馬県協事務局長）
事務局	組織	小林 精一（関東幹事会事務局長）
次長	編集	小田切 博（山梨県協事務局長）
実行委員	各県協若干名	

# 水上温泉へようこそ ホップ ステップ ジャンプ

群馬県協議会

全国の仲間の皆さん、群馬県で開催された前2回の感想はいかがでしたか。5月は雪の残る谷川岳などの山々に囲まれ、新緑の風薫る絶景です。余裕のある方は、ぜひ観光と温泉を満喫されてください。群馬県協は、会員減と高齢化の課題克服をめざして、全国の皆さんとの交流を待ち望んでいます。地の利を生かして参加者増を計っていきます。群馬県三度目の開催となりますが、ホップ、ステップ、ジャンプ！今回は更なる飛躍を皆さんと共に勝ち取りたいと思います。

## 第23回全国交流集会開催要項

開催日時 2018年5月19日(土)13時～20日(日)12時まで

開催会場

水上温泉 **水上ホテル聚楽**

群馬県利根郡みなかみ町湯原 665 TEL:0278-72-2521

参加費(案) 15,000円(1泊2食、資料代含む)

主催 「全協」再建をめざす労働大学まなぶ友の会 県協連絡会議  
現地実行委員会 関東ブロック県協連絡会議

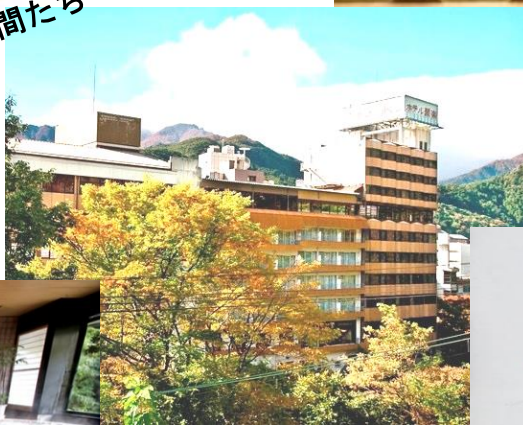


第22回全国交流集会で寸劇を熱演した関東の仲間たち



モンブラン

全体集会会場



ホテル聚楽全景



大浴場～翠溪の湯～

